

地域防災懇談会



9月24日(火)午後、「多文化共生時代の地域防災～外国人支援を中心に～」と題した懇談会がありました。今年1月の能登地震、8月の宮崎県地震に続いての南海トラフ地震臨時情報の発表など、近年、自然災害への準備の重要性がさげばれています。今回、東日本大震災の際、仙台市国際交流協会で外国人支援にあたった経験をお持ちの菊池哲佳先生(現 一般財団法人多文化社会専門職機構理事・事務局長、桜美林大学準教授)をお迎えし、災害時の地域防災の中で、特に外国人支援についてお話いただきました。避難所で実際におこった事例をモチーフにしたワークショップで外国人対応について考え、その後、東日本大震災の先生の経験談を伺いました。実体験に基づいた具体的なお話でとても分かりやすく切実な思いが理解できました。今まで漠然と考えていたことを全く異なった視点から考えることが重要であるとの気付きにもなりました。外国人に限らず日頃からのコミュニケーションが大事であると改めて思いました。

今回は市役所防災課の方にも参加いただき、今後我々ボランティアと一緒に外国人対応について考えていくきっかけとなりました。

地域日本語コーディネーター 荒明 美奈子



ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで





KOKUSAI インタビュー

『まずは受け入れる私たちが仲良く楽しく！』

杉本 泉 さん

【所属部会・活動年数】国際交流部会 約2年



杉本 泉 さん

Q 現在どんな活動をしていますか？

交流部会には様々な活動がありますが、その中で交流ツアー、料理教室、おりがみ教室、お茶会などの活動に関わっています。現在は10月のイベントの料理教室に向け、リーダーを中心に6、7人のメンバーで内容や会費、広報についてミーティングを行い、参加者の募集しているところです。

Q 交流部会に入ったきっかけは何ですか？

以前に16年間、日本語教室部会に所属していて、その時のお友達に誘われて定例会に参加したことがきっかけです。

Q 活動を通して思うこと、感じることはどんなことですか？

どんなイベントをしたら楽しんでもらえるか、どうすれば皆で交流できるかをベースに、企画して皆で作りに上げていくところが面白いです。イベントごとにコアメンバーが集まって企画を練っていくうちに、部会員同士だんだん親しくなっていくのですが、受け入れる側が楽しくしていないと参加される外国人も楽しくないと思うんです。だから、まずは私たち部会員がチームとして仲良く楽しく活動していきたいですね。

Q 趣味や、現在の関心事を教えてください

健康が一番なので、趣味でもう20年ぐらいヨガをやったりプールに通って水中エアロをやったりしています。それから、頭がよく働くようにと麻雀を続けています。麻雀は勉強することも多く、始めた頃は車を運転しながら他の車のナンバーを中国語で言ってみたりしていました(笑)。仲間と一緒にしゃべりもできるのでとても楽しいです。

関心事と言えば、最近、各地で線状降水帯や大洪水で大変ですよね。以前はピンとこなかったことが身に迫っている感じがして地球温暖化や気候変動のニュース、防災にも関心を持つようになりました。

Q 今後の目標は？

個人的にはまずは自分の健康維持で、心身ともに平常でいることが第一です。部会では新しく入った方も親しくなりたいですし、みんなで仲良く楽しく交流したいですね。今回初めて企画したイベントの「おりがみ教室」も、今後定期的に行えば参加する外国人も定着するのではないかと考えています。ひとつのイベントを継続してやることで、部会員と参加者が顔なじみになって、他のイベントにもその方が参加しやすくなればいいなと思っています。

日本語を母語としない中学生のための 多言語高校進学ガイダンス

8月31日(土)午後 多言語高校進学ガイダンス東京実行委員会、都立高校教員の協力のもと、ガイダンスをおこないました。

参加者：中学生家族4組8名、支援者他19名、外国人相談部会通訳2名、高校教員7名 合計36名でした。

内容：1) 東京都の高校入試の仕組み 2) 高校生の話 3) 個別相談

個別相談ではさまざまな相談があり、高校教員がアドバイスをしました。高校生の話では、母語と日本語で自身の経験を話してくれ、その話に参加者は皆強く感じ、感動しました。高校生自身も話をしたことが自信になり、やってよかったと話していました。中学生家族は、様々な支援をしてくれる人がいることで、安心し、明るい顔で帰っていったのが、印象的でした。

今回、支援者の参加が多く、高校進学への関心の高さを実感できました。また町田市教育委員会を通じて、全中学校にガイダンスの案内を配布することができ、今後も市教委や支援者と連携協力していくことの重要性を感じました。

News！ 令和7年度入試変更（9月19日東京都教育委員会発表より）

在日3年3か月以内の在京外国人受け入れ校が、現在の8校（府中西、国際他）から12校（砂川、荻窪他）に増えました。また日本国籍の生徒も受験できることになりました。（受験科目は日本語か英語の作文・面接。）

子ども教室部会 高島 みゆき



例大祭の子ども山車巡行

9月22日(日)、六生会（原町田六丁目自治会）主催の「子ども山車巡行」に参加しました。

今年の子どもの山車巡行ほど天候に悩まされたことは、長い交流部会の中で初めてでした。そのような状況下で7家庭（中国、フィリピン、台湾、日本）9名のお子さんに参加いただきました。

子どもたちに重たい山車を1時間半ほど引いてもらうので「安全第一」かすり傷一つもなく終えるように心がけ出発しました。

出発前まで心配をしていた雨ですが、見事に太陽が顔を出し、まるで私たちを応援しているかのようでした。子どもたちのハッピーとハチマキ姿、そして真剣な眼差しに「かわいいー頑張っ！」の声が周りから聞こえてきます。二か所でジュースとお菓子をいただき、「わっしょい！わっしょい！」と、元気を出してますます盛り上がり、二歳に満たない子どもも終盤に向けて大きな声で頑張りました。子どもたちみんなの輝いた顔、ご両親の楽しそうに応援している姿が心に残りました。神殿に奉納する和太鼓をみんなの力でカリヨン広場に無事もどすことができ、子どもたちの笑顔がホッとやわらぎます。お土産のお菓子袋を六生会からいただき、元気よくご両親の元へ戻って行きました。

カリヨン広場では獅子舞や太鼓など伝統芸能が披露され、会場の熱気は最高潮。また、夕方まで各自治会の神輿複数基が町田町内を勇ましく練り歩いていました。

六生会の皆様、ハッピー式、お菓子や飲み物等のお心遣いどうもありがとうございました。

国際交流部会 加藤 陽子




高齢者向け

町田市生涯学習センター

なんでも スマホ相談室


事前に予約が必要です

生涯学習センターで好評開催中の「なんでもスマホ相談室」の高齢者向け相談室です！講師がふれあい桜館に向向いて開催します。



マンツーマン形式！

ご自分のペースで質問可！



完全初心者向け！

基本操作からお教えします！

日程		会場	
12月	6日(金) 11日(水) 18日(水)	ふれあい桜館 (町田市下小山田町3580)	集会室

対象の方・お時間

- ・町田市在住で、スマホの操作に慣れていない 60歳以上の方
- ・午前9時00分～午後12時20分の間の40分間
- ・各日10人まで

持ち物

- ・スマートフォン
- ※貸出タブレットもございます
- ・土足禁止のため、必ず靴下を着用してください。

お申込
問合せ

町田市生涯学習センター（町田市原町田6-8-1）

☎042-728-0071 なんでもスマホ相談室担当まで

編集後記

11月、秋の終わりの月。町田に紅葉の訪れる頃。公園のイチョウの木が黄色に。そして私たちもそろそろ冬支度。今年の秋も様々なイベントがあり、ボランティアの皆さんもさぞ忙しかったと思います。お疲れ様でした。

今年から発足した「町田国際交流センター MIC AWARD」の本年度表彰式が10月15日に町田市民ホール会議室で行われ、MICでボランティア会員として永年に渡って活動されている32名の方々に感謝状が贈られました。それぞれのスキルを活用してボランティアとしてがんばってこられた方々に再度敬意を払いたと思います。